



北九州市議会議員
森ゆみ子
市政相談室



皆さま、こんにちは。北九州市議会議員の元気もりもり森ゆみ子です。

色とりどりの紫陽花が目を楽ませしてくれる季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。雨の日は頭痛やめまいなど体調を崩される方もいらっしゃるかと存じますが、ご飯をしっかり食べて、しっかり睡眠をとってご無理なさりませんようにお気を付け下さい。

先日新しい事務所に引っ越しをいたしました。モノレール守恒駅そばのスーパーサンリブもりつねさんの向かい側になります。急激に様々な物価が上がったため、ランニングコストの削減を考え、今までよりも家賃の安い事務所に引っ越しをしました。4月からは町内会長も仰せつかり、相変わらず私は飛び回っておりましたが、事務所のスタッフをはじめ、たくさんの方々にご協力を頂いて、無事に引っ越しが出来ました。本当にありがとうございました。新しく市政相談室として開設し、市政に関することはもちろん、その他にもお困り事が有りましたら、お話を伺わせて頂きます。お近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

北九州市議会議員 **森 結実子**



新事務所

〒802-0971
北九州市小倉南区守恒本町2-2-14
MIRAINA TERRACE 301号
電 話 093-964-6069
ファックス 093-964-6071

森ゆみ子事務所

〒802-0971 北九州市小倉南区守恒本町2-2-14
TEL:093-964-6069 FAX:093-964-6071

市民とともに北九州

〒803-8501 北九州市小倉北区内1-1 北九州市議会市民とともに北九州
TEL:093-582-2658 FAX:093-582-4867



本会議報告

令和8年度の 予算審議を行いました。



令和8年度予算のテーマは「成長加速予算」

人が
あつまる

投資が
あつまる

経験が
あつまる

と、三つの土台となる地域の力

一般会計	6,476億円（前年度比 0.7%減）
特別会計	4,352億円（前年度比 1.0%減）
企業会計	3,141億円（前年度比 3.1%減）
合 計	1兆3,970億円（前年度比 0.7%減）

本会議での質問は以下の2点です。

① 公文書について

森:北九州市の門司港地域複合公共施設整備事業を巡り、市情報公開審査会は厳しい答申を出しました。令和6年4月の委員会報告に至る決裁文書や議事録を市が「不保有」としたことに対し、審査会は「社会通念上納得しがたく、にわかに信用しがたい」と指摘。記録を残さず意思決定したとする市の姿勢は、民主主義や公文書管理制度の観点から問題が大きいと考え、市民への説明責任を定めた公文書管理法の趣旨に背く事案ではないかと伺いました。

都市戦略局長:実際には令和6年7月29日付で「今後の進め方（対応方針）」の方針決裁を行っており、決裁文書は存在し情報公開にも応じています。これは「北九州市文書管理規則」に則った適切な対応であります。同規則は公文書管理法の趣旨を踏まえて規定されており、本件の作成・管理も適切に運用しているため、法律に背く案件だったという指摘は当たらないと認識していると答弁をしました。

森:方針決裁文書は公開されていても、その根拠となる会議録やメモが一切存在しない点こそが社会通念上あり得ない。今回の件は初代門司駅遺構という、国指定級かつ世界遺産としての価値がある遺跡の出土範囲をほぼ全て破壊するという重大な決定であります。それにもかかわらず、どのような議論を経て結論に至ったかの記録が皆無では、現在および未来の市民への説明責任を果たせていない。これは「無責任な行政」であり、同様の事態を防ぐためにも公文書管理の条例化を前向きに検討するよう強く要望しました。

② 北九州ソレイユホールについて

森:北九州ソレイユホールは、市民寄附1億円と県と市が5,000万円ずつの計2億円をかけて買い取ったパイプオルガンがあり、40万筆超の署名活動を経て市が取得した、市民の思いが詰まった2,008席の大ホールであると言えます。多彩な文化芸術を発信してきたが、老朽化点検のため2025年4月から休館しています。現在、市内で大規模な興行が可能なホールが機能して



おらず、多くの興行が福岡市に流れており、文化の衰退やパイプオルガンの劣化が懸念されています。点検結果と今後の検討予定について伺いました。

市長:2,000席規模のホールは芸術鑑賞や都市の品格向上に大きな意義があります。築40年以上が経過し老朽化が進んだため、現在は施設全般の調査・検証報告書を精査中であります。同時に、国の事業を活用した民間事業者へのサウンディング調査を実施しており、今年度末までに結果を取りまとめる予定です。現時点で方向性は未定だが、調査結果を踏まえて検討を進め、適切なタイミングで報告します。なお、パイプオルガンは休館中も適切に温度・湿度を管理し、保守点検を継続しています。

都市ブランド創造局長:1月末に報告書は受領したものの、現在は数値や積算根拠を照合・確認している段階であり、公表は控えます。また、外部の検討委員会の設置といった具体的な進め方も、現時点では未定であります。

森:福岡市の新ホール建設に莫大な費用がかかった例を挙げ、本市の財政状況からも現ホールの存続と活用を強く要望。アーティストと魚町銀天街の交流が街のにぎわいを生んだ事例を紹介し、早期の興行再開を訴えました。最後に、過去の遺構問題のように市民への突然の発表で混乱を招くことがないように、廃館などの重大な決定は、事前に市民や議会と丁寧に合意形成を図るよう求めました。



本会議報告

補正予算の審議をしました。

補正予算は一般会計16億円
国からの交付金で、非課税世帯等への給付金や
指定ごみ袋の製造費の高騰にも対応しています。

議会質問は以下の2点です。

1 常盤橋について

森:行政視察で訪れた京都市の三条大橋の補修・景観再生事業を挙げ、歴史的価値を持つ小倉の「常盤橋」と共通点が多いと言及しました。日本遺産でもある常盤橋は、2024年に木製部分の損傷等で通行止めとなり、今年5月に木製橋桁の撤去が完了したが、市民の間では歴史の軽視や解体を懸念する声があります。市民の安心のために「架け替え」を公に宣言すること、また概算費用の公開に加え、京都や旧古河鋳業若松ビルの先例のようにクラウドファンディングや寄付を募って市民と一体で再建することを提案しました。



都市整備局長:「常盤橋のあり方検討会」で「形を変えても残してほしい」との意見で一致し、現在は架け替えを軸に議論を進めていると説明。今後は川に残るコンクリート橋脚の再利用調査を行い、秋頃の結果を踏まえ同検討会で議論を深めるため、現段階での宣言は控えつつも、必要なプロセスを着実に踏んでいくとしました。費用については調査結果や補強の必要性を勘案して試算し、検討会の材料として提示します。また、寄附等の活用は市民の愛着醸成に有効であり、広く理解を得られる手法を検討するとしました。

森:過去の架け替えには3年と7億5,000万円を要した記録があり、早期の目途立ちを要望。視察先で得た「触れる部分が木であれば木の橋と認識される」という知見を紹介して欄干の木製化を希望しました。さらに、かつて紫川が小倉城のお堀として機能していた歴史的エピソードにも触れ、地元で愛され活用される橋として架け替えに尽力するよう求めました。

2 ナフサ由来製品の不足と物価高について

森:2026年2月の米イスラエルによるイラン攻撃とホルムズ海峡封鎖以降、原油価格高騰とナフサ由来製品の不足が国内に深刻な影響を与えています。政府は「調達は十分」としていますが、現場の中小企業からは材料不足や異常な値上がりに伴う倒産の危機が訴えられており、生活用品の品薄や物価高も実感を伴っている。地方自治体として市内企業や市民を守るべきだと主張し、①相談窓口の拡充、②低金利融資や助成金などの資金繰り支援、③全市民を対象とした生活支援の3点について見解を伺いました。

市長:中東情勢は先行き不透明であり、予断を許さない。市では全庁横断的な対応を図るため、3月17日に対策チームを立ち上げて情報収集を進めてきました。原油高やナフサ製品の供給不安定化、さらには令和4年から続く物価上昇により、市民の不安が高まっていると認識しています。そのため、今回の6月補正予算案では「支援が行き届きにくい層へのきめ細やかな支援」として、くらし応援手当の給付対象拡大等を提案しています。今後も国の動向を見極め、財源を確保しながら機動的に効果的な支援策を検討して参ります。

森:特定の対象だけでなく、普通に納税しながらも支援の手が届かない層からも「行政に見捨てられたのか」という厳しい声が上がっていると言及。原油枯渇への懸念や価格のさらなる高騰など、今後も長引くことが予想される物価高に対し、「全ての市民を見捨てない」という強い姿勢で政策を打ち出すよう求めた。材料費高騰の中で人件費引き上げに苦しむ企業や、物価高に賃金が追いつかない市民を守るため、国・県・市が連携して確実な対策を講じるよう強く要望しました。



J-POWER 視察報告

5月29日、北九州市若松区にあるJ-POWER（電源開発株式会社 若松総合事業所）を視察させて頂きました。J-POWERは、全国に約100か所の発電所を保有し、運営している会社です。若松総合事業所は今年3月より北九州響灘洋上ウインドファーム（洋上風力発電）の営業運転を開始しています。今回はテトラポッド（波消ブロック）の新製品を拝見。いままでの物は、表面がツルつとしていましたが、実験を重ね表面に凹凸を付けることにより、海藻が付きやすくなり、魚礁になるというものでした。実際に波打ち際に置いてあるテトラポッドを拝見しましたが、海藻がたくさん付き、そばには多くの魚が泳いでいました。自然と人工が上手く合わさり、海の環境が良くなることを願っています。（他にもトマト工場なども拝見しました。）



近況報告

今年度より、地元守恒本町の町内会長を仰せつかりました。守恒本町町内会は蒲生八幡神社より守恒八旗八幡神社をお預かりしている珍しい町内で、町内の行事も神社の行事もあり、多くの事業を行っています。町内会の方々は年代も考え方も様々でいらっしゃると思いますが、皆さんが行事に出て楽しかったなあと頂けるように力を尽くしていきたいと思っております。また徳力小学校区の連合会の書記も拝命いたしました。会議も多くなり考えることも多くなりましたが、地元の為に働けることは大変嬉しく思っています。ご意見、ご要望、お困りごとなどお気軽にご相談ください。



冬の守恒八旗八幡神社

ゆみ子の御用聞き



昔から酒屋さんなどが注文を聞いて回っていた『御用聞き』のように、皆様の日常のお困りごとやご意見など、伺って参りたいと思っております。ホームページ・Facebook・お電話などで、お気軽にご相談ください。



Facebook



ホームページ



電話する

www.facebook.com/morihiroakioffice/

moriyumiko.jp

093-964-6069 (森ゆみ子事務所)



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を交えています
FSC® C

このニュースレターは、市議会各会派に交付される政務活動費を用いて作成しています。

森ゆみ子プロフィール

Profile



- 神奈川県平塚市生まれ(昭和41年10月4日)
- 玉川大学文学部芸術学科美術専攻卒業(平成元年3月)
- 株式会社文化財保存計画協会入社(平成元年5月～)
- ホーチキ株式会社派遣勤務(平成3年8月～)
- 結婚(平成6年6月)
- 森とアメリカビッツバーグ市へ(平成7年5月～11月)
- 北九州市議会議員森浩明事務所勤務(平成9年2月～)
- 夫、森浩明 他界(令和元年10月15日)
- 北九州市議会議員2期目
- 市議会での会派は市民とともに北九州
- 市議会での委員会は建設建築委員会委員長

【好きな食べ物】イチゴのショートケーキ・チョコレート
【好きな動物】猫・うさぎ 【趣味】茶道(表)・コーラス